

安保・沖縄闘争（準）に対する 公開質問状

623を頂点とする70年6月反安保闘争は、全口各職場、各地域、各学園においてその準備を着々と進められているし、この斗争は将しく帝
主義者の全分野にわたる再編成策に抗する斗いとして、反帝諸派の全戦線分野にわたっての全口的な斗争として展開する必要があるだろう。

かなる斗争において我々学生共闘会議は、明確に労働者との連帯、とりわけ428斗争を職場実力斗争をもって突破した単産青工部、組織労働者との
連帯し、青学共闘実行委を結成して闘い抜くだろう。そして我々のこの斗争に対して反帝諸派諸君は労働者との連帯を語る場合、地区反戦・ベ平連と
いう職場・生活点での斗争展開を一切放棄した部分との「連帯」のみである。我々はこの様な反帝諸派の「斗争」が何ら各職場、生活実根に根ざした原
則的な斗争を全く保障し得ないものを知っている。

そして我々ばかりの観点によって529全口学生統一行動を提起したし、全口各学園においてのMの統一も果すべく課題と基本戦略の一致に基く共同斗
争の原則に貫かれた斗争を展開してきたし、スローガンにおいてもインドネシア民族解放斗争を明確に東南アジア平和共済体制を指向する斗いであると位
置付け、将に民族解放革命としてあることを断言する。又、沖縄闘争についても、日米共同声明で言われた、沖縄の核付き自由使用返還に対抗する沖縄基
地撤去即時全面返還を掲げて闘い抜くことを明らかにする。

安保・沖縄斗争実行諸君

- (1) 諸君等は、全口各職場・生産者・青年組織・労働者との連帯するのか否か？
- (2) 諸君等は全口各学園において、とりわけ前面において、共同行動の原則に貫かれた学生連帯の統一も志向する全戦線学生共闘実行委の隊列に合流する
のか否か？
- (3) 諸君等は、もし京都・北九州というなら、現在分裂と現況にある反帝諸派のどの派系と連帯するのか、そして諸君等の連帯のマルクマールな一
体何なのか？
- (4) 諸君等は、仙別市大における「斗争」でもっていいにして全人民的闘争であるところの安保・沖縄斗争を「斗って」行くのか？

以上4点及びインドネシア民族解放斗争との連帯、沖縄斗争の位置づけを5月29日までに語っていただきたい。

学生共闘会議